



特別展
 人々の救い 天神信仰
 —菅原伝授手習鑑より—

(背景) 余呉湖畔の衣掛け柳

開催期間

平成25年10月7日(月)~11月10日(日)

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.

開館時間 9時~17時(入館は16時30分まで) * 期間中無休
 入館料 大人600円・小中学生300円(小学生未満は無料)
 * 団体20名様以上・割引券・JAF会員(会員証ご提示)は2割引
 障がい者は手帳のご提示でご本人と介護者1名無料
 長浜市・米原市の小中学生は無料
 * 長浜浪漫パスポートをご利用いただけます

特別展

人々の救い 天神信仰

- 菅原伝授手習鑑より -

「菅原伝授手習鑑」は右大臣 菅原道真と政敵 藤原時平との確執に、三つ子の兄弟が生死をかけて絡むという大スペクタクル時代物で人形浄瑠璃の名作です。主人公である道真は、讒言による左遷という無念さから、死後、雷神となり天変地異を起こしました。のちに人々の苦悩を理解し、衆生擁護、学問の神として広く親しまれることとなります。

展示では、丸本歌舞伎三名作のひとつである菅原伝授手習鑑を模型や浄瑠璃本から判りやすく紹介するとともに、現在おこなわれている長浜曳山祭 子ども狂言とオーバーラップさせます。また火雷神として恐れられた道真が、庶民の神、学問の神として人々に受容されていったその諸相を、福井県越前地方でおこなわれている天神講や、長浜市の湖北地域でおこなわれている「オコナイ行事」にスポットを当てて資料から見ていきます。拙コレクションの多彩な天神像からは各地の天神信仰をくみ取ることができるでしょう。

本展示を通して人形浄瑠璃、歌舞伎にそして庶民信仰に現在も存在感を示す菅原道真の一端に触れていただければ幸いです。(背景) 余呉湖畔の衣掛け柳



▲天神図 (長浜城歴史博物館)



▲天神坐像 (福井県立歴史博物館)

■主な展示資料

- 菅原伝授手習鑑吉田社車引の場模型 一式 (国立文楽劇場)
- 天神坐像 二体 (福井県立歴史博物館)
- 天神人形 十件 (京都府立総合資料館)
- 臥牛像 一体 (長浜市元浜町 知善院)
- 愛知県指定有形民俗文化財 菅原伝授手習鑑カラクリ人形 一式 (犬山祭 絳英 名栗町)
- 岐阜県重要有形民俗文化財 菅原道真カラクリ人形 一式 (大垣祭 菅原軸 新町)
- 草岡神社 (国安) おこない文書 (長浜市余呉町国安区保管) ほか

▲愛知県指定有形民俗文化財 水引幕 (犬山祭 絳英 名栗町)

■掲載写真 (おもて)

- (左上) 国指定重要無形民俗文化財 犬山祭 絳英 名栗町
- (右上) 大垣市重要無形民俗文化財 大垣祭 菅原軸 新町
- (左中) まんし天神図 (福井県歴史博物館)
- (左中) 長浜曳山祭 平成22年常磐山 「天満宮菜種御供-時平の七笑-」
- (左下) 天神講の舞い 酒井小学校 (福井市) 1956年(昭和31年)

特別展記念講演会「ここが面白い!! 菅原伝授手習鑑」

講師 やまだ かずひと 山田 和人 氏 (同志社大学文学部国文学科教授・長浜市文化財審議委員)

平成25年 10月27日(日)

〈会場〉曳山博物館
伝承スタジオ

18:40~カラクリ実演

展示中の大垣祭 菅原軸
10分の1模型のカラクリを
作動させます。

19:00~講演会

菅丞相の息子 菅秀才の
身替わりのために我が子を犠牲にする松王丸と千代夫婦
の悲劇で有名な寺子屋を中心に、本作の見どころや
エピソードなど、画像を交えつつわかりやすく解説します。

(大垣祭菅原軸 10分の1模型)

聴講料
無料



滋賀県長浜市元浜町14番8号
TEL0749-65-3300、FAX0749-65-3440
<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>
(交通案内) JR長浜駅から徒歩6分
長浜ICより車で10分

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBTSUKAN Ave.



■略歴

1952年生まれ
江戸時代前後の日本近世芸能・
演劇を研究。近年はからくり
人形の調査・研究に取り組む。

■主な著書・編書など

- 「洛東遺芳館所蔵古浄瑠璃の研究と資料」
- 「豊竹座浄瑠璃集三」「私説昭和の文楽」 ほか多数